

【 社会 】 科 学習指導案 学年「 1 年」

授業者	立田 佐智子	教科	社会 歴史
単元名	教科等横断を図る教科等名と内容		
仏教の伝来と奈良時代 ～大きな大仏をつくることができた理由を説明しよう～	美術：海を超えた文化交流 受け継がれる日本の美 国語：「古事記」		
単元の目標（単元でつけたい力）			
・ 大きな大仏が建立することができた理由と、それを取りまく背景を理解する。 ・ 律令国家の確立にいたるまでの過程、東アジアの制度を取り入れた国家のしくみを理解する。			
学校図書館等の活用で身に付けたい力			
・ 自分の課題解決に必要な情報を選択し、情報を比較してより最適な方を選ぶ力 ・ 収集した資料を使い、課題解決に生かせる力			
本単元育む情報活用能力 ＜該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力 ステップシート」から確認できます＞		A—STEP4 B—STEP4 E—STEP4 F—STEP4	
観点別評価規準			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
聖徳太子や蘇我氏が目指した政治と中国（隋）の関係、大化の改新から律令国家の確立、律令制度の内容をもとに古代国家のしくみまでの過程、奈良時代の人々のくらし・税や土地制度のしくみ、天平文化の特色を理解する。	世界の宗教建築がつけられた理由、聖徳太子が仏教を広めた理由、大化の改新が行われた理由、大仏が造られた目的、大宝律令ができた目的、平城京のしくみを通して、奈良時代までの変化の様子を東アジアの動きに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	大きな大仏をつくることができた理由について、見通しをもって学習に取りくもうとし、学習を振り返りながら単元につらぬく問いの答えを追究しようとしている。	

単元における学習の展開（全 6 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

（○…「評価に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」）

次	○主な学習内容・活動	評価の重点			評価の方法
		知	思	態	
本時☆ 第1次 (1時間)	○世界の宗教建築について調べる ・世界一の大仏をはじめ、世界の宗教建築について理解する。 ・単元をつらぬく問いの予想を考える		○	●	発表のワークシート
第2次 (1時間)	○聖徳太子の政治改革 ・聖徳太子や蘇我氏が目指した政治や文化の特色を理解する ・聖徳太子などの政治の特色について、大陸との関係に着目して考察し、表現する。			●	

第3次 (1時間)	○東アジアの緊張と律令国家への歩み ・大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を理解する。 ・7世紀の国内情勢を、東アジアの動きに着目して考察し表現する			●	
第4次 (1時間)	○律令国家の成立と平城京 ・律令制度の内容を基に、古代国家の仕組みを理解する。 ・古代国家の仕組みについて、中国の影響に着目して考察し、表現する			●	
第5次 (1時間)	○奈良時代の人々の暮らし ・奈良時代の人々の生活を理解する。 ・奈良時代の人々の生活について、税や土地制度に着目して考察し、表現する。			●	
第6次 (1時間)	○天平文化と仏教 ・代表的な文化財を通して、天平文化の特色を理解する。 ・天平文化の特色について、遣唐使の活動に着目して考察し、表現する ・大きな大仏をつくることができた理由をまとめる。		○	○	振り返りシート
第7次 (1時間)	○単元テスト ・まとめの小テストを実施する。	○	○		小テスト

☆学校図書館等活用（本時）の学習

本時のねらい 世界の宗教建築について項目ごとに情報を集め、なぜつくられたかを理解し、奈良時代に大仏を造ることができた理由の仮説を立てることができる。

本時の指導過程

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10) 分	1. 世界一の東大寺大仏について、共有する 2. 世界の宗教建築について、どのようなものがあるかの説明を行い、「大仏をはじめとする世界の宗教建築がなぜ作られたのか」の問いの予想をする。	・大陸からもたらされた仏教が、我が国の文化の様々な面に影響を及ぼしたことに気づくことができるようにする。
展開 (35) 分	3. 大仏をはじめとする世界の宗教建築はなぜ作られたのかを図書館資料で調べてワークシートにまとめていく。 どの宗教建築を調べるかは、各班で選ばせていく。 調べる内容は主に下記の通りである。 ①なぜ、作られたのか（時代背景） ②概要について（大きさ、重量等） ③制作期間、費用はいくらかったか ④制作にあたり苦勞したことなどあるか ⑤その後の変化から現在の状況 各班で図書館資料で調べてまとめた内容を発表する。	・図書館の本を活用して、情報収集を行い、まとめていく。 ・調べる項目を設定し、発表を簡潔にできるようにしていく。

まとめ (10) 分	4. 発表を聞いて、「大きな大仏をつくることができた理由について説明しよう」という問いについての仮説を立てる。 5. 世界の宗教建築について、同じワークシートで振り返りを行う。	・ワークシートに振り返りを記入する。
---------------	--	--------------------

本時の評価規準

☆評価規準【思考力、判断力、表現力等】評価方法【ワークシート】

- ・大きな大仏をつくることができた理由を予想し、学習の展開後、その仮説に対して説明する。
- ・大仏がつくられた背景、その影響はどのようなものだったのかを理解する。

〈生徒の具体的な姿〉

- A 大仏が造られた理由について予想し、図書資料を利用して世界の宗教建築を調べて、律令国家の国のしくみとからめて説明することができる。
- B 大仏がつくられた背景、その影響はどのようなものだったのかを理解する。

(指導の手立て)

資料からわかる情報だけを調べるのではなく、その後の変化や今現在がどうなっているのかを主体的協働的に興味を持って考えさせる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・日本史の授業の中であっても、常に世界も動いていることを意識できるように、世界の宗教建築に目をむけさせている。
- ・生徒に調査させる世界の宗教建築は、すべて世界遺産を選んでいる。

単元で活用した図書の一覧（タイトル/著者/出版社）

- ・学研まんが 日本の歴史 飛鳥の朝廷から平城京へ / 大石 学 / 学研
- ・聖武天皇と行基 / 小西 聖一 / 理論社
- ・世界遺産 ふしぎ探検大図鑑 / 小学館
- ・世界遺産 改定新版 / 小学館
- ・ふしぎ？びっくり！ニッポン美術たんけん 1巻～3巻/ 日本図書センター
- ・ふしぎ？びっくり！西洋美術たんけん 1巻～3巻/ 日本図書センター
- ・国際関係がよくわかる宗教の本①ヨーロッパとキリスト教 / 池上 彰/ 岩崎書店
- ・国際関係がよくわかる宗教の本②アメリカのキリスト教・ユダヤ教 / 池上 彰/ 岩崎書店
- ・国際関係がよくわかる宗教の本③中東とイスラム教 / 池上 彰/ 岩崎書店
- ・国際関係がよくわかる宗教の本④アジアと仏教 / 池上 彰/ 岩崎書店
- ・日本の遺跡と遺産 ①縄文・弥生の遺跡 / 新谷 桂/ 岩崎書店
- ・日本の遺跡と遺産 ②古墳 / 新谷 桂/ 岩崎書店
- ・日本の遺跡と遺産 ③古代の遺跡 / 新谷 桂/ 岩崎書店

- ・日本の遺跡と遺産 ④中世・近代の遺跡 / 新谷 桂/ 岩崎書店
- ・日本の遺跡と遺産 ⑤城と城跡 / 新谷 桂/ 岩崎書店
- ・日本の遺跡と遺産 ⑥近代化遺産 / 新谷 桂/ 岩崎書店
- ・日本の遺跡と遺産 ⑦戦争遺跡 / 新谷 桂/ 岩崎書店
- ・総合学習に役立つみんなの世界遺産 ①世界遺産を見る・調べる・守る / 城戸 一夫/ 岩崎書店
- ・総合学習に役立つみんなの世界遺産 ②わたしたちの国ー日本 / 城戸 一夫/ 岩崎書店
- ・総合学習に役立つみんなの世界遺産 ③東アジア・東南アジア・インド / 城戸 一夫/ 岩崎書店
- ・総合学習に役立つみんなの世界遺産 ④西アジア・アフリカ / 城戸 一夫/ 岩崎書店
- ・総合学習に役立つみんなの世界遺産 ⑤西ヨーロッパ・北ヨーロッパ / 城戸 一夫/ 岩崎書店
- ・総合学習に役立つみんなの世界遺産 ⑥南ヨーロッパ・東ヨーロッパ / 城戸 一夫/ 岩崎書店
- ・総合学習に役立つみんなの世界遺産 ⑦北アメリカ・南アメリカ・オセアニア/城戸 一夫/ 岩崎書店
- ・教科書の絵と写真で見る 日本の歴史資料集 奈良時代～平安時代 / 古舘明廣/ 岩崎書店
- ・新教科書に出てくる42人の人物と日本の歴史② / 高野 尚好/ 学研
- ・調べ学習に役立つ図解日本の歴史②絵や資料で調べる飛鳥・奈良・平安時代/佐藤 和彦/あかね書房
- ・歴史おもしろ新聞 第2巻 東大寺に日本一の大仏 / 佐藤 和彦/ ポプラ社
- ・カラーでわかるガイドブック知ってる？正倉院 / 奈良国立博物館 / ミネルヴァ書房
- ・人物や文化遺産で読み解く日本の歴史2 聖徳太子・法隆寺・東大寺大仏 / 千葉 昇/ あかね書房
- ・奈良の大仏 世界最大の銅像 / 香取 忠彦/ 草思社
- ・歴史ビジュアル 実物大図鑑 / 山下 裕二/ ポプラ社
- ・世界遺産 / 稲葉信子・斎藤秀俊/ ポプラ社
- ・日本の歴史1 旧石器～平安時代 / 山岸良二・滝波貞子/ ポプラ社
- ・キャラ絵で学ぶ！日本の世界遺産図鑑 / 伊藤賀一/ すばる舎
- ・日本の歴史別巻 文化遺産 学習辞典 / 大石学/ 学研
- ・国際理解につながる宗教のこと③歴史と宗教アジア編 / 教育画劇